

02	まちの話題
04	特集 二十歳のつどい
08	多久市からのお知らせ
17	あじさいへ行こう！
18	教育委員会だより
19	市長コラム
20	健康ノススメ
22	おたっしゅだより
24	まちのPickUPインフォメーション
28	Hi! POSE ほか

1月9日[Mon]

成人祝賀ロードレース大会を開催



▲元気に走り出す選手のみなさん

第58回多久市成人祝賀ロードレース大会（主催：多久市、多久市教育委員会、一般財団法人多久市体育協会）が3年ぶりに開かれました。

天候にも恵まれた今大会には、総勢227人が参加。2 km、3 km、5 km、10 kmの4種目が実施され、選手はスタートの合図と同時に多久市陸上競技場を駆け出し、思い思いにレースを楽しんでいました。

多久市体育協会の伊川照明会長は「関係各位のご協力のおかげで開催できました。参加されたみなさんも久しぶりに再会され、大変喜んでおられる様子を見られてよかったです」とほほ笑みました。

12月6日[Tue]

国交省が小形除雪機を無償貸与



▲沓掛孝佐賀国道事務所長（写真右）と横尾市長（写真左）

国土交通省が行う自治体管理道路の除雪体制強化を支援する取り組みの一環で、佐賀国道事務所から多久市へ小形除雪機2台が無償で貸し出され、貸出式を多久市役所で行いました。

多久市は平成28年1月の大雪で中山間部に交通障害が発生したことから貸し出しを要請。県内で初めて貸し出しを受け、東多久町や西多久町の雪が積もりやすい市道や、住宅地の細い路地などで活用されます。

横尾俊彦市長は「多久市は豪雪地帯ではありませんが、年に数度雪が降り、道路が凍ってしまうこともあります。備えを万全にし、安全確保に努めます」と話しました。

12月15日[Thu]

令和4年度手話奉仕員養成講座 閉校式



▲修了証を手にした受講生のみなさん

手話が必要な聴覚障害者を支援する「手話奉仕員」養成講座の閉校式を行いました。講座は令和4年6月から12月まで計47回開催。式では、38回以上出席した受講者9人に修了証が授与されました。

令和4年度の講座は、佐賀県聴覚障害者協会の会員が講師になり、日常会話に必要な手話表現について講義が行われました。講座を受講した上野多佳子さん（南多久町）は「コロナなどの新しい単語表現を学びたくて受講しました。ろう者の人たちとも手話でやりとりができ、交流の幅が広がると思います」と笑顔で話されました。

令和5年度の講座も予定されています。

今月の論語

知者不惑。
知者は惑わず。

出典…千年第九

正しい知識のある人は、どんなことがあっても心が乱れることがない。

今月の帰宅放送は、
東原彦倉中央校9年の
大坪優菜さんです。



多久市公式
Twitter



多久市公式
YouTube



多久市公式
Instagram



多久市公式
Facebook

